

グループホーム「櫻」第13回運営推進会議議事録

日時 平成21年6月30日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 2F 食堂(居間)
出席者 運営推進会議委員
逗子市福祉部 介護保険課長 舘 兼 好
(代理出席 村松様)
葉桜自治会 副会長・福祉部長 杉 浦 強 司
逗子市民生委員 秋 山 比出夫
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子
(代理出席 森川様)
ご家族代表 原 メイ子
(委員5名中5名出席内代理2名)
医療法人社団柏信会 看護部長 仲 保 寿恵子
グループホーム「櫻」 管理者 菅 谷 弘 子
事務長 遠 藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に本日の出席を謝すとともに、当法人の角野理事長が急用で出席できないため理事長挨拶を割愛、議案に入る旨を伝えるとともに法人関係で武江看護部長の後任者、仲保看護部長を紹介、各委員には自己紹介をお願いした。

2. 議案

管理者は自己紹介等終了後、議事の進行及び報告等を事務長に指示。
事務長は配布資料の確認をした後、会議次第に基づき報告説明を行った。

3. 議題

(1) 報告事項

ア 運営状況(現況)等について

： 入居者の現況(21.9.25現在)

別紙資料により、特に前回報告事項からの変動について以下の報告を行った。

1Fでは入退所男女各1名の移動があり、櫻全体でのご利用者様は男性3名、(-1名)女性15名(+1名)で介護度は要介護1が+1名(女性)、要介護2が-1名(男性)で平均年齢は-4.72歳の82.06歳と若干若返りました。

： 活動状況

別紙資料、(さくら8・9月号及び敬老会写真集の抜粋)による他概要報告は以下の通り。

恒例のお誕生会、七夕祭り、近隣のお祭り見物、1・2F合同の模擬店や書道などを実施、ご利用者様に楽しんで頂きました。

なお、敬老会の写真コピー抜粋を各委員に回覧し、ボランティアによるよさこい踊り、会食風景、家族懇談風景の状況を補足説明。

各月とも季節行事を組み込みボランティアの参加もあり盛り上げりのある行事が実施できた。気候がよく屋外の活動も実施できたと総括。また、各委員に機関紙さくらへの寄稿等について協力を要請した。

イ スプリンクラー設置に伴う進捗状況について

前回報告以降の進捗状況について別紙資料「スプリンクラー設置業者選定資料」により説明の後、以下について補足した。

アルソックは配管露出部分が当方の要望にっていないので、現在要望に副った見積書の再提出を依頼しているところである。

概ねこの4社から1社に絞込み助成金の手続きを含め準備を進めて行きたい。

ウ 葉桜自治会役員会への参加について

地域との連携の観点から前回の会合で、葉桜自治会副会長の杉浦委員からアプローチを頂き、7月1日(水)19:30からの役員会に施設側から管理者、事務長の2名を参加をさせて頂き、ご挨拶と櫻の概要をご説明すると共に地域との交流についてご協力をお願いしてまいりました。

9月9日、葉桜自治会の大橋役員様が施設見学にお出でになり、特に防火防災の対応等について意見を交換させて頂き、今後も情報等の交換を図り交流を進めることになりました。

(2) その他

意見交換（質疑応答）は懇談の形で実施、主な発言内容は以下の通りで他は割愛する。

Q スプリンクラー設置について業者選定は公募するのか。

A 助成金の対象事業であるが逗子市としては特に制約しない。

A 櫻としては見積書を精査して先の4社から1社を選定したい。

Q スプリンクラー設置は福祉課が担当して、年度の予算請求の関係もあるので、本資料を持って調整されたほうが良いのでは。

A 来週中のも現在の進捗状況を福祉課に説明に行く。

Q 新型インフルエンザの対応についてはどうしているか。

A 季節型も含め流行期に入るため、スタッフを含め来訪者の手洗い（消毒）、マスクの使用など最低限は実施している。

新型発生初期と異なり社会的にも流行への関心が引くように思われるので、施設に持ち込まないように努力する。

最悪の場合は面会禁止等の処置まで考えるが、スタッフが罹患した場合、ご利用者様の介護が不可能になった場合等緊急の課題として検討している。

現在のところ兆候の早期発見、早期受診に努める以外方策はないのが現状である。

Q 葉桜自治会も自身問題を抱えているので櫻との連携協力体制が直ぐにでも実施できない状況のある。今回の交流も目的の窓口が開いた程度であることを承知してもらいたい。

A 連携協力体制は一気に出来るものではないので、これを契機に長いスパンで努力してゆきたい。

5. 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時間に至ったので、管理者は各委員に対し本日の出席を謝し閉会を宣した。